

# きらめき通信 Vol.3

九州大学病院きらめきプロジェクト 歯科部門の取り組み

歯科部門統括 大学院歯学研究院 城戸 瑞穂

みなさん、こんにちは。歯科部門は、平成19年度文部科学省支援時からきらめきプロジェクトに参画し、すでに4年目になりました。その間、非常勤歯科医師として九州大学病院での勤務に携わり出産を経てあるいは育児に奮闘しながら歯科医療の現場に復帰したスタッフは8名です。それぞれが、認定医・専門医・学位の取得や、常勤歯科医師として大学病院あるいは地域医療の場で活躍しています。

家庭の中での女性特有の役割分担についての考え方は、それぞれのキャリア形成をどちらかという留まらせる決定を強いるように見えますが、年を重ねるにつれて家庭内での役割だけでなく社会的な活躍の場を求めるようになるのは自然の流れなのだと思います。最初は、将来に焦りや不安を抱え心配顔でやってきた非常勤歯科医師スタッフたちが、きらめきでの経験を経てそれぞれのキャリアプランを持ちながら現場に巣だっていくのを見るのは嬉しくも頼もしい瞬間です。

今年度は5名が診療にあたりながらそれぞれのキャリアを形成しています。各診療科での診療に加えて、摂食嚥下訓練および口腔ケア支援委員会とも連携して院内での口腔ケアにも力を入れるようにしてきました。循環器疾患や外科手術・移植医療・抗ガン治療などの患者さまは、誤嚥性肺炎・感染性心内膜炎・人工呼吸器関連肺炎・口腔粘膜疾患の重症化などのリスクを抱えています。九大病院の入院あるいは入院前の患者さまの良好な口腔衛生状態獲得により、合併症の予防や入院日数の短縮などを目指し、今後もスタッフ一同精進していく所存です。

医師と歯科医師は同じように診療に携わりますが、とりまく環境は様々な違いがあり、女性の立場も異なる部分もあります。歯学部では学生・大学院生は4割前後を女性が占めています。その一方で、社会での活躍をみると年齢を重ねるにつれ女性の割合が減っていき、決定権のある職位に女性が参画していないのは今の日本医療界では一般的な光景です。育児・介護そして仕事とのバランスは永遠の課題ですが、それらを経験している女性が医療の場で活躍することが医療の質を上げていくことに繋がり、男女の差にかかわらずそれぞれの力を発揮できる組織となることは、すでに知られていることです。

きらめきプロジェクトでの思いもかけない出会いや経験を通して、歯科部門の責任を見据え貢献すべくスタッフ一同精進して参ります。どうぞ、宜しくお願いいたします。

【問い合わせ先】

口腔ケア予防外来

内線6421 全身管理歯科

内線6483



きらめき通信では、現在きらめきに所属し活躍されている先生方を紹介します。

### 自己紹介

卒後10年目の皮膚科医です。

大学病院や関連病院で勤務し、第2子出産後、夫の転勤などでフルタイムからは遠ざかり、細々と仕事を続けてきました。

昨年からきらめきプロジェクトに所属しております。



### ☆きらめきプロジェクトに入ってからの変化や育児と仕事の両立にまつわる話

当初は本格的な仕事から離れていたこと、子供の転校、保育園さがしなど生活の変化が大きく、大学での勤務はとても不安でした。幸い皮膚科には子育て中の先生方が多いため、いろいろと配慮していただいていると感じますし、感謝しています。

### ☆週間スケジュール

月、火、木、金の週4日大学の外来で勤務しています。いろいろな経験ができて、とても勉強になります。子供たちのお迎えの時間を気にせず、勉強したいなあと思う時もありますが、有限の時間だからよいのかもしれない。

朝は毎日、寝坊の子供たちと悪戦苦闘し、バタバタ出勤しています。保育園はお迎えに行くまでそこに子供がいてくれるという安心感がありますが、小学生はまだまだ手はかかりにくくても目をかけることがいかに大切か痛感しています。

仕事の後は、習い事の送迎、夕ご飯の準備など、これもまたバタバタと時間が過ぎていきます。

### ☆さいごに

きらめきプロジェクトに所属させていただき、徐々に仕事復帰していく機会を与えていただけて感謝しています。

7月から医員での勤務予定ですが、周囲の先生方に支えていただいていることを感謝しつつ、バランスを取りながら、勉強していきたいと思っております。

## 自己紹介

卒業9年目の歯科医です。博士課程修了後、矯正認定医を取得し、妊娠・出産のため研修登録医として大学で診療を続けてきました。昨年きらめきプロジェクト(以下きらめき)在籍中に第2子を出産し、現在子供は2歳半と5か月です。上の子は自宅近くの保育園、下の子は小さいので、午前中を限度に院内保育園の一時保育を利用中。夫は大病院勤務の歯科医ですが、近い将来実家に戻る予定で、夫の転勤に伴う移動を考慮した上で、自分の

キャリアを継続する方法を日々悩みながら模索しています。



## ☆1日の過ごし方

・きらめきでは週2回(4時間/日)の勤務で、1日は口腔ケア外来に、もう1日は患者さんの診療希望日に、とフレキシブルに働いています。短時間勤務が可能でかつ大学の施設を利用できるメリットを生かし、認定医更新に必要な論文の執筆や、本院で開催されている研修会や講演会を収録したe-learning教材を視聴しています。家事・育児に追われ自宅で読むことが難しい論文や専門誌などを大学にいる間に時間の許す限り読みたいのですが、勤務時間以外は5か月の子と一緒にいるのでまだ十分に集中した時間は取れていません。

・日々の生活は、朝6時起床、8時過ぎに家を出て、子供をそれぞれ預けて出勤。勤務終了後、下の子を迎えに行き、子連れできらめき医員室を利用。16時過ぎに上の子の迎え、17時帰宅。夕食・入浴の後、20時前後に子供を就寝させ、その後洗濯物などの家事の処理に奮闘します。家庭のごまごました雑事を済ませたいのですが、二人の子供の相手に体力を消耗するのか夜間の授乳のためか、添い寝したまま一緒に寝てしまうことが今の悩みです。

## ☆保育の状況

両親は遠方に住んでおり、夫の帰りも遅く、土曜日の仕事の時など夕方の迎えではファミリーサポート、病気をすれば病児保育を利用するため、月の保育料は10万円以上かかります。負担は大きいですが、きらめきでのサポートのおかげで日々進歩する専門分野の情報を取り入れながら勉強を細々とでも継続することが可能になり感謝しています。また短時間勤務のため、乳幼児につきものの病気にも柔軟に対応でき、家事・育児の時間も確保しやすくなりました。

## ☆きらめきで働くことで考えるようになったこと

現代の日本社会は、長時間労働や仕事優先を当然とする男性と、その夫のサポートと子育てを一手に引き受ける女性という構造がまだ主流です。家族の幸せのための仕事が、家族との時間を犠牲にし、それが働く女性または働き続けたいという女性に大きく負担としてのしかかり、現代の「孤育て」を生み出す状況になっています。最近でこそ「イクメン」という言葉で、育児に関わる父親が多くなってきましたが、子育てに父親が必要な期間は幼児の時だけではなく思春期までずっと続きます。家族と仕事のいいバランスが夫婦のいい関係を作りだし、生涯にわたる家族関係の積み重ねを作っていくのではないかと…子育てにより「どうやって自分のキャリアを続けていくか」というワークライフバランスについて深く考えるようになりました。今後もこのプロジェクトを通じて、より良い家族の在り方、生涯にわたる生きがいを模索し続けていきたいと思っています。

きらめきプロジェクトからのお知らせ

# 九州大学病院きらめきプロジェクト 第2回講演会

参加無料

日時：平成23年6月7日 火 18:00～

会場：総合研究棟105号室・サイエンスカフェ

「心から慕われ、期待され、  
尊敬される健全な社会になるために」

認定NPO法人女子教育奨励会(JKSK)理事長 木全ミツ氏

## プログラム

18:00～開会の辞

18:10～きらめきプロジェクト講演会

「心から慕われ、期待され、  
尊敬される健全な社会になるために」  
認定NPO法人女子教育奨励会(JKSK)

理事長 木全ミツ氏

21世紀版  
NPO法人女子教育  
奨励会とは？

19:10～パネルディスカッション

パネリスト：福岡県男女共同参画センター  
あすばる館長 村山由香里氏  
きらめきPJスタッフ

19:30～質疑応答

世界を舞台に活躍されてきた先生。  
数々の貴重なお話が聞けるチャンスです！

人間の幸せ  
について



撮影 山田慎二

木全ミツ氏 略歴

- 1936年7月 福岡県久留米市生
- 1960年3月 東京大医学部 (公衆衛生) 卒
- 1960年4月 労働大臣官房国際労働顧問兼渉外官  
職業能力開発局海外協力課長
- 1986年1月～1989年1月  
国連日本政府代表部公使 (New York)
- 1989年1月 労働大臣官房審査官
- 1990年1月 ジャスコ株式会社顧問
- 1990年6月 (株)イオンフォレスト  
(TheBodyShop,Japan) 代表取締役社長
- 2002年3月 認定NPO法人女子教育奨励会(JKSK)理事長  
公益社団法人日本フイランソロビー協会理事  
財団法人日本音楽財団評議員  
財団法人警察協会理事  
財団法人ユーザー-カー能力開発協会理事  
NPO法人企業社会責任(CSR)フォーラム理事  
NPO法人世界平和大使人形の館をつくる会  
副理事長

九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター

【お問い合わせ・託児申し込み】

TEL/FAX: 092-642-5203

URL <https://www.kyudai-kirameki.com>

Mail: [kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp)

主催：九州大学病院

共催：福岡県医師会・NPO法人九州医療システム研究機構・総合メディカル株式会社

託児あります  
(1週間前までに  
お申し込みください)

九州大学病院 きらめきプロジェクト キャリア支援センター

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX: 092-642-5203

MAIL: [kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp)

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>

